

#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.361)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



今日の治療指針 2023 年版 [ポケット判]

私はこう治療している

福井次矢、高木 誠、小室一成＝総編集

定価 17,050 円／B6 判・2,208 頁／医学書院／2023

1959 年の初版から長きにわたり臨床現場で使われてきた、信頼と実績の最新治療年鑑。第 65 巻となる今版では疾患項目を追加し、さらに処方例に一般名と商品名を併記。診断に関する記載や文献情報も充実。薬剤師による「服薬指導・薬剤情報」や各種付録など、便利な情報が満載。マルチデバイスで閲覧可能な電子版つき。『治療薬マニュアル 2023』との併用で、2 冊の電子版が連携しグレードアップ！



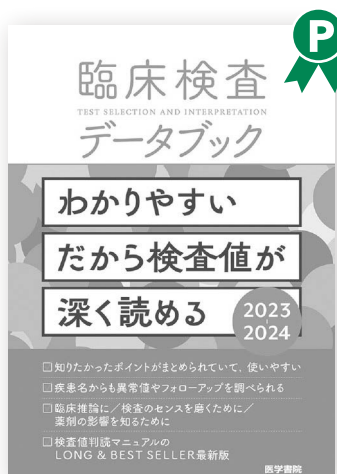
治療薬マニュアル 2023

高久史磨、矢崎義雄＝監修

北原光夫、上野文昭、越前宏俊＝編

定価 5,500 円／B6 判・2,848 頁／医学書院／2023

添付文書情報を整理した「薬剤便覧」に、専門医の「臨床解説(適応外使用など)」を加えた全医療者必携の治療薬年鑑。後発医薬品や 2022 年収載の新薬を含む、ほぼすべての医療用医薬品を収録。病態生理と薬理作用を図示した「図解薬理作用」など、実用的な付録・解説も充実。パソコン・スマホ・タブレットで利用できる「Web 電子版」(利用期限：2024 年 1 月末)つき。



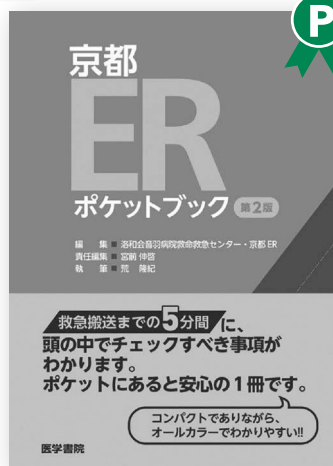
臨床検査データブック 2023-2024

高久史磨＝監修

黒川 清、春日雅人、北村 聖、大西宏明＝編

定価 5,500 円／B6 判・1,200 頁／医学書院／2023

全医療職者のための臨床検査値判読マニュアル。検査項目を詳解し、異常値の「なぜ？」に答える。“考える検査”をサポートするため、読みやすさと使いやすさを徹底追求。「パニック値」「異常値のでるメカニズムと臨床的意義」「見逃してはならない異常値」「特定背景のある患者の検査値変動」「薬剤の影響」「患者指導」をすぐ引ける、きめ細かい構成。疾患名から診断・経過観察に必要な検査がわかる「疾患と検査」も拡充。



京都 ER ポケットブック

第2版

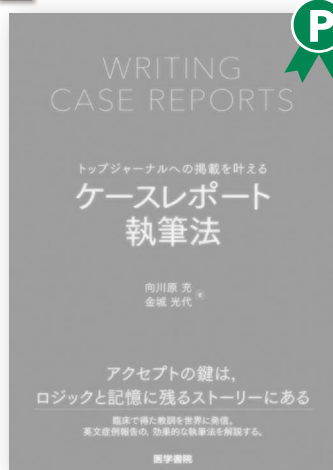
洛和会音羽病院 救命救急センター・京都 ER = 編

宮前伸啓 = 責任編集

荒 隆紀 = 執筆

定価 4,180 円 / A6 判・528 頁 / 医学書院 / 2023

ER 研修の壁を乗り越えるサポーターとして、上級医の頭の中を言語化してコンパクトにまとめるという趣旨はそのままに、第2版では日々の臨床のなかで研修医との対話を通じて浮かび上がった皆がうなずく ER でのポイントを意識して改訂。また主訴別アプローチの「アタマの中」は文字＋イラストやフローで図示し、緊急性の高い病態対応の大きな幹をイメージ化し捉えやすくすることを目指した。



トップジャーナルへの掲載を叶える

ケースレポート執筆法

向川原 充、金城光代 = 著

定価 3,520 円 / A5 判・216 頁 / 医学書院 / 2023

症例報告をテーマとした類書はあるが、その多くは掲載されるためのテクニック集であり、指導医の目線から論文執筆の指導法を解説したものはない。本書は、インパクトのあるジャーナルに掲載されるための要素（症例の物語性、重層化されたすぐに活かせる学びのポイント、効果的な執筆チーム編成など）を概説し、症例報告を執筆する「考え方」や「方法論」を提示する。アクセプトの鍵は、ロジックと記憶に残るストーリーにある！



医療者のスライドデザイン

プレゼンテーションを進化させる、デザインの教科書

小林 啓 = 著

定価 3,740 円 / B5 変判・200 頁 / 医学書院 / 2023

デザイナー兼現役医師による、医療系スライドをデザインの視点から徹底的に解説する指南書。伝わるデザインにはルールがあり、ポイントを押さえることで医療のプレゼンテーションは大きく改善する。デザインの理論だけでなく、幅広い職種に応じた多くの事例スライドを紹介し、ビフォー／アフター形式で具体的に理解。演習問題や事例スライドを特設サイトからダウンロードし、手を動かすトレーニングが可能に。スライドのほか、研究ポスター、チラシ、オンラインプレゼンテーションなど、医療者が直面するデザインを見やすく、伝わりやすくするテクニックを多数紹介した。あなたのスライドには、まだ改善の余地がある！共にデザインを学び、医療のプレゼンテーションを進化させよう。